

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	日本語	担当教員	安藤郁美		
学年学科	3年 留学生	通年	必修	3単位	
学習・教育目標	(C-1) 70% (A-1) 30%				
授業の目標と期待される効果： 学習者自身と日本社会が関連付けられるテーマについて、読む、話す、聞く、書く活動を行う。各学生が自分自身や日本社会について思考し、自分の考えを日本語で表現し互いに伝え合うことを通して、それぞれの思考を広げたり深めたりしていくことを目指す。また、常に自分に必要な日本語能力を内省し、目標を立て、自律的な学習能力を身に付けることを目指す。 ① 自分自身と日本社会について思考できる。 ② 自分の考えを話したり書いたりすることで他者に伝えられる。 ③ 他者との相互作用を通して、自己理解、日本に対する理解が深まる。 ④ 自分に必要な日本語能力を把握し、自律的に学習を進められる。		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 ＋発表・作文 30 点＋普段の授業参加態度 70 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 ＋発表・作文 30 点＋普段の授業参加態度 70 点 学年：前・後期の重みを等しくして合計し得点率 (%) で成績をつける。 ※授業参加態度は、授業中に日本語で話そう、書こうという意欲が見られるか、振り返りシートの記述から自分の能力を適切且つ積極的に把握しようという態度が見られるかによって評価する。 達成度評価の基準： 授業内容の理解について、以下の項目に関する試験・課題に対して 6 割以上の正答レベルまで達していること。 ① 各課で扱った内容について、各課の重要文法も使いながら、理解可能で内容を明確に口頭で説明できる。 ② 各課で扱った内容について、各課の重要文法も使いながら、理解可能で内容を明確に説明した十分な量の作文が書ける。			
授業の進め方とアドバイス： 授業は他者とやり取りすることに比重を置くため、個人作業が可能なことは予習とする。新出・既出に限らず各自言葉の整理ができるよう言葉シートを作ること。学生が主体的に学習に参加し自律的に学習を進められるよう、各テーマが終了するごとに振り返りシートに記入する。言葉シート、授業中の作文、振り返りシートはファイリングし、期末テスト後の全体の振り返りで活用する。					
教科書および参考書： 『日本で学ぶ留学生のための中級日本語教科書 出会い』（東京外国語大学留学生日本語教育センター、2015）他にプリント、辞書等。					
授業の概要と予定：前期					AL のレベル
第 1 回：オリエンテーション、第 1 課-1 「留学することの意義」① 事前活動					
第 2 回：第 1 課-1 「留学することの意義」② 読む活動、話す活動					
第 3 回：第 1 課-2 「街で見つけたおもしろいもの」① 事前活動、聞く活動、話す活動					
第 4 回：第 1 課-2 「街で見つけたおもしろいもの」② 発表の方法を学ぶ					
第 5 回：第 1 課-2 「街で見つけたおもしろいもの」③ 発表準備					
第 6 回：第 1 課-2 「街で見つけたおもしろいもの」④ 発表、ふりかえり					
第 7 回：第 2 課-1 「就活を考える」① 事前活動					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：第 2 課-1 「就活を考える」②読む活動、話す活動					
第 10 回：第 2 課-2 「日本の職場」聞く活動、話す活動					
第 11 回：第 2 課-3 「私のキャリアプラン」話す活動、書く活動					
第 12 回：第 3 課-1 「商店街でみんな元気に」① 事前活動					
第 13 回：第 3 課-1 「商店街でみんな元気に」② 読む活動、話す活動					
第 14 回：第 3 課 「商店街でみんな元気に」③ 岐阜の商店街の取り組みを知る					
期末試験					
第 15 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）、前期全体の振り返り					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：第4課-3「地域の名所を紹介する」① 事前活動，計画	
第17回：第4課-3「地域の名所を紹介する」② 発表準備	
第18回：第4課-3「地域の名所を紹介する」③ 発表，振り返り	
第19回：災害	
第20回：第4課-1「自然との共生」① 事前活動	
第21回：第4課-2「自然との共生」② 読む活動，話す活動	
第22回：中間試験	
第23回：第5課-1「1杯のコーヒーから世界を考える」① 事前活動，読む活動	
第24回：第5課-1「1杯のコーヒーから世界を考える」② 読む活動，話す活動	
第25回：第5課-1「1杯のコーヒーから世界を考える」③ 話す活動，書く活動，振り返り	
第26回：第5課-2「フードマイレージ」① 聞く活動，話す活動	
第27回：第5課-2「フードマイレージ」① 読む活動，話す活動，振り返り	
第28回：第6課-1「教室のお客様」① 事前活動，読む活動，話す活動	
第29回：第6課-1「教室のお客様」② 話す活動	
期末試験	
第30回：フォローアップ（期末試験解答解説など），後期全体の振り返り	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	各課のテーマ理解、内容把握に関する問題をほぼ正確（8割以上）に解くことができる。	各課のテーマ理解、内容把握に関する問題をほぼ正確（6割以上）に解くことができる。	各課のテーマ理解、内容把握に関する問題を解くことができない。
②	各課の新出語彙や重要文法も使用しながら、聞き手が理解するのにほとんど（8割以上）負担を感じさせずに、事実や自分の考えを口頭で説明できる。	各課の新出語彙や重要文法も使用しながら、事実や自分の考えを口頭で説明できる（6割以上）が、所々聞き手が理解するのに負担を感じる部分がある。	各課の新出語彙や重要文法も使用・不使用に関わらず、事実や自分の考えを口頭で説明しても、聞き手が理解するのに非常に負担がかかる、もしくは理解不可能である。
③	各課の新出語彙や重要文法も使用しながら、各課のテーマの要旨や自分の考えについて、読み手が理解するのにほぼ（8割以上）負担を感じさせない作文が書ける。	各課の新出語彙や重要文法も使用しながら、各課のテーマの要旨や自分の考えについて、読み手がほぼ理解可能な作文が書ける（6割以上）が、所々論旨や日本語の表現で理解が難しいところがある。	各課の新出語彙や重要文法の使用・不使用に関わらず、各課のテーマの要旨や自分の考えについて書かれた作文を読み手が理解するのに非常に負担がかかる、もしくは理解不可能である。
④	各トピック終了時点での自分の日本語能力や必要性について、助けがなくても自ら深く内省ができる。	各トピック終了時点での自分の日本語能力や必要性について内省ができるが、一部支援が必要である。	各トピック終了時点での自分の日本語能力や必要性について内省ができない。